

第2回山口県レフェリーアカデミーを周南市徳山商工高校で開催

2019年4月21日(日)



Yamaguchi Referee Academy

第2回山口県レフェリーアカデミーを4月21日(日)、周南市徳山商工高校で開催しました。今回の研修会は高校支部大会を利用し行われ、県内から社会人2名、大学生2名、高校生2名、計6名の3級審判員と2名の審判指導者が参加しました。



Yamaguchi Referee Academy



Yamaguchi Referee Academy



Yamaguchi Referee Academy

インストラクターコメント

内田康博レフェリーアカデミーマスター

今回の研修では「主審とは」という講義と「ファウルの判定」という講義を行いました。ファウルの判定を行う際の監視すべき点を映像を交えながら詳しく解説しました。受講生達は一つのファウルに対して主審がここまで細かく監視しなければならないのかと驚いていました。このような驚きや気づきが本アカデミー開催の目的だと改めて強く思いました。本アカデミーは若手審判員達が色々な刺激を受け、それをフィールド上で表現できるような仕組みを作り上げていくことが重要だと思っています。そして彼ら若手審判員の情熱や活動が山口県のサッカーファミリー全員に伝わるように努力したいと思いました。

参加者コメント

稲木優希3級審判員(高校2年生)

今日、初めてレフェリーアカデミーに参加して審判経験を積むことが出来ました。最初に行った自己紹介では初参加の2名としっかりコミュニケーションが取れ、内気な自分としては少し成長できたかなと思いました。

実技では、主審の動きを主に理解し、習得することが出来ました。2人の競技者が同時にボールに挑もうとした時やペナルティーエリア内でのファウル、ハンドが起きそうな時に予測して全力で走りジャッジの説得力を自分で上げることなどを学びました。また、3級昇級講習でインストラクターに教わった、ボールまたは競技者から離れる時に守備側競技者の後ろに逃げるなどといった細かいテクニックも意識しながら笛を吹きました。

また、競技規則の理解が低かったことが今日分かったので日頃から競技規則を読み、どのような状況になっても正しいジャッジを下せるようにしたいです。

最後に、僕が今日1日講習を受けて最も刺激を受けたことは、僕が主審をしている時に内田審判員がシャドウとして指導してくださった時、あるプレーのジャッジがゴールキックになった時の場面です。普通、判定がゴールキックになる時、3級または4級審判員はセンターサークル付近から合図を出します。でも、僕はその位置ではプレーが行われている位置から遠すぎると思い、ペナルティーエリアの中に入り込んで合図をするようにしていました。しかし、内田審判員は、ゴールエリアまで入り込んで合図を出していました。それを見た時に「あの位置まで入り込むと説得力が高まって競技者は異議を示すことが出来なくなるな」ということを感じました。このように出来る限りプレーに近づいて判定をくだすことが1番大事だと思いました。

今回、学んだことや反省すべき点をしっかり受け止め改善し、更に優れた審判員になれるよう頑張ります。来月のアカデミーも宜しくお願いします。

藤川昂也3級審判員(大学1年生)

今回、山口県レフェリーアカデミーに初めて参加させていただきました。4月に広島県から山口県に引っ越してきたばかりで、審判員として活動する場が持てるか不安でしたが、参加することができて本当に良かったです。

アカデミーでは自分の足りないところや、こうした方が良いという意見を他の参加者さんと共有しお互いの成長に繋がることができました。今回学んだことを活かし、今後のスキルアップに繋げていけたら良いと思います。

次回開催

2019年5月26日(日) 山口県内

審判スキルアップや昇級を目指している方の参加を募集いたします。同じ志をもった仲間と一緒に勉強してより良いサッカーの創造を求めて行きましょう。参加ご希望の方は山口県サッカー協会のHPをご確認の上担当者へご連絡下さい。

担当者

氏名 内田康博(山口県レフェリーアカデミーマスター)

電話番号 090-8248-2127

メール zico0717@ybb.ne.jp



一般社団法人

山口県サッカー協会